



写真：佐藤正勝カメラマンさん

## MediaDoKageyamaRacing

参加台数 32台

8月24日 DUNLOPF4トレーニング3本

8月25日 OTG F4トレーニング3本

8月26日 予選(30分間)1stタイム：8位 2ndタイム：5位

第11戦決勝(10LAPS)：9位

8月27日 第12戦決勝(10LAPS)：9位



～木曜日～

ドライ

16位・3位・17位

### 1本目 100Kmタイヤ

気温が相当高く、4.5周目にベストが出ました。タイヤも昨日から使っているため厳しかったですが、S字をもっと攻めていく必要があります。逆バンクなども今までと少し違ったアプローチの仕方をチャレンジしました。

### 2本目 Newタイヤ

100Kmタイヤで計測1周行い、その後Newへ。

大きくアンダーステアになることなく全体的にグリップレベルが上がった事によりタイムも上がりました。

ただ、まだS字やデグナーなど攻めていく必要があります。S字を考えると少しアンダーステアだったので、もっとフロントが入った方が良い感覚がありました。

### 3本目 60キロタイヤ

レース1の事ではなく、明日履かせて頂くNewタイヤに向けてのセットアップを進めました。

元々リアのスタビは真ん中についていたので、フロントのスタビも5→3へ（最硬から真ん中）変えたところフロントがよりしっかり入るようになりました。当然タイヤが減ってる事もあり、オーバーステアが強くなりましたがNewタイヤに向けては良い感覚だったと思います。

～金曜日～

ドライ

14位・7位・9位

### 1本目 110km→116kmタイヤ

昨日の走行後にまだまだS字区間で改善出来る場所を見つけたので、セットを変えずに走行しました。

また気温や路温が高いことによりアタックしてタイムが出る周回も少ないので、アタックの練習を行いました。アタックもきちんとできたと思います。

### 2本目 Newタイヤ

最初のアタックでは攻め過ぎてしまったので、1度前との間隔を開けて再度アタックしました。2周続けてベストタイムと同じタイムを出せましたが、もっと完成度の高い走りを出来るようにしなければなりません。

フロントがもう少し入って欲しかったので3本目に向けてはフロントのキャンバー角を0.3度付けて頂きました。

### 3本目 Newタイヤ

アドバイザーさんにアドバイスを頂き、セッション開始から1分15秒後にコースインする事により前後共にクルマがいない状態でアタックする事ができました。千代さんありがとうございます。

キャンバーに関しては初期は入りやすくなるものの、求めていたコーナー真ん中からの動きは良くなりませんでした。

## ～予選～

## ドライ

昨日の3本目より、予選開始から1分15秒後にコースインし、アタックしました。前後共にクルマが居なかったために非常にアタックしやすかったです。

今朝雨が降ったこともあり路面の感触はかなり違っていました。S字区間では昨日までよりもアンダーステアを感じましたが、タイヤの良い部分は短いのでそこできちんと踏んでいけたのは良かったです。

セクター1.2.4ではトップと変わらないタイムで走れていましたが、セクター3だけタイム差がありました。

赤旗後は気温が低い事もあり再度アタックしましたが、タイヤのピークは過ぎておりタイム更新出来ませんでした。しかし、タイヤのピークの部分できちんとクリアでアタック出来たこと、踏んでいけた事は良かったです。



予選結果： 第11戦スタート8位  
第12戦スタート5位

## 第11戦 ドライ

スタートはとても良かったです。1コーナーまでに距離があるためにどんどん伸びていきましたが、2台目を抜きに行く際にその後の場所取りが上手くいかず順位キープとなってしまいました。その後は前車のミスによりチャンスがうまれましたが抜けきれず、逆に後車にチャンスを作る展開にしてしまいました。

ブレーキでは絶対に負けませんでした。他の部分で抜かれてしまいました。

決勝結果：8位→9位



## 第12戦 ドライ

せっかくのチャンスを活かすことが出来ませんでした。

スタートは普通で、以降は自分のミスから流れを崩しました。

本当に申し訳ございません。

泣いても笑っても後1ラウンドです。

2ヶ月の間にしっかり自分を追い込み、速さ・強さ、とにかく結果に繋がることをします。レースをします。

決勝結果：5位→9位

# ～まとめ～

今回のレースは3年間の鈴鹿のレースの中で一番悔しい思いが残るレースでした。

予選ではフィーリングが良くない中でレースウィークでのベストタイムもが出ました。きちんと自分自身集中してアタックが出来た結果だと思えます。しかし、セクター1.2.4がトップタイムと同じタイムだっただけにセクター3での遅さが悔やまれます。

決勝では2レースとも追い上げるレースをしたかったのですが順位を下げてしまいました。

自分が攻める部分で決め切れなかったこと、守る部分で守れなかったこと。きちんと反省しております。

また今回は攻める部分よりも守る部分の方が多かったです。

最終戦のもてぎで今までの自分と違う印象でレースを終えますので、皆様最終戦も宜しくお願い致します。

今回も応援・サポートして頂きありがとうございました。

篠原拓朗

